

おわりに

不登校は関係機関とつながれば解決!という問題ではないことは、皆さんもご存じのことと思います。子どもが問題を抱える背景は多様化・複雑化しています。だからこそ大事なことは、子どもの表面的なあらわれだけで判断するのではなく、子どもの内面を丁寧に理解していくことだと思います。

関係機関と関わる中で、学校・教師のできるこって何だろう・・・と考えたとき、意外と学校・教師ができることが多いことに気付きます。子どもの情報を持っているのは、家庭であり学校であるからです。学校の話を知ると、あの手この手で先生方が不登校の子どもを支援しています。言葉で気持ちを表現することが苦手な子どものために、選択肢を用意し、その中から本人が選ぶことができるようにしながら会話を進めている先生、週1回放課後に通う子どもと対戦するためにカードゲームバトルの腕を磨く先生、イメージすることが苦手な親子に、写真入りのお便りを作成する先生・・・。たくさんの先生方が、子どもを理解し受け入れ、支えています。この子どもを理解し受け入れる肯定的な関わりが、子どもの心の安定に大きく影響していることを肌で感じています。

「子どもの気持ちや状況を多面的・多角的に理解し、関係機関と連携しながら、学校・教師は肯定的な関わりを大切にするとともに、本人のペースを感じながら伴走していくことができたらと思います。

静岡県総合教育センター 専門支援部 教育相談課

〒436-0294 静岡県掛川市富部 456 番地

電話番号：0537-24-9735

E-mail : sogokyouiku-kyoikusodan@pref.shizuoka.lg.jp